

ロジスティクス環境フォーラム 2011

—ロジスティクス環境会議（CGL）を超えて—

参加者募集のご案内

[プログラム]

- ①グリーンロジスティクス事例研究会
- ②グリーンロジスティクス共同研究

[開催スケジュール]

2011年7月～2012年2月（①、②ともに、各々6会合開催）

[参加対象]

- ・環境問題に関心をもち、ロジスティクス分野の環境負荷低減活動を目指す実務家の方
- ・グリーン物流に興味があり、異業種メンバーとの人的ネットワークを構築したい方

ロジスティクス環境フォーラムとは

東日本のみならず我が国全体に大きな影響を与え痕跡を残した東日本大震災とこれに起因する福島第一原子力発電所の事故で、私たちは資源やエネルギーの貴重さをあらためて認識することになりました。今後予想される原子力発電量の低下は原油等の化石燃料への依存割合の増大に繋がり、結果、限りのある化石燃料を産業部門間でシェアしあう状況が発生するものと思われます。

一方、2011年度は、4月に東京都が排出量取引制度の運用を開始したことに始まり、10月には温暖化対策税の導入が予定されていること、また、目を海外に転じれば、ポスト京都議定書の枠組みを議論するCOP17の開催やエネルギーマネジメントに関する国際標準規格ISO50001の発行など、資源・エネルギー問題や温暖化対策の局面にあたる年になると考えられます。

このような状況の中、ロジスティクス環境フォーラムは、7年間に亘った「ロジスティクス環境会議」で得た知見や人的ネットワークを活用しながら、これまで実践してきた省エネルギー・環境負荷低減活動をより一層推進してまいります。

ロジスティクス環境フォーラムは、環境対応を進めたいと考えるロジスティクスに携わる異業種のメンバーが参画し、他所では得られない幅広い情報の収集や人的ネットワークの形成が可能な場になっています。

概 要

1. 目 的

持続可能社会を実現するロジスティクスの構築

2. 期 間

2011年7月～2012年2月

3. 参加対象者

ロジスティクス分野における環境負荷低減活動を実践したいと考えている、製造業、流通業、物流事業者、情報サービス業、調査研究機関、自治体等の方々。

4. 活動方針

持続可能社会を実現するロジスティクスの構築に向けて、発荷主・着荷主・物流事業者の連携のもと、ロジスティクス環境会議の活動成果及びネットワークなどを活用しつつ、ロジスティクス分野の環境負荷低減活動を推進します。

5. 目 標

持続可能型社会の実現に向けて、ロジスティクス分野の環境負荷低減を経営の重要課題として認識し、研究会などの活動を通じて、次の内容を実現します。

- ① 自らの環境負荷を低減する
- ② 環境負荷低減に取り組む企業を増やす
- ③ 情報を発信し、持続可能社会の形成に寄与する

活動計画

2011年度のロジスティクス環境フォーラムは、2010年度の活動を継承し、「グリーンロジスティクス事例研究会」と「グリーンロジスティクス共同研究」の2つを核に活動します。

「グリーンロジスティクス事例研究会」は、毎回企業の実務家や大学の研究者をお招きして、グリーンロジスティクスの最新企業事例やグリーンロジスティクスの企画を行う上で留意すべき外的要因などについてお話を聴きます。

「グリーンロジスティクス共同研究」は、民間企業がグリーンロジスティクスを遂行する上で制約となっているような事項について、行政等に要望活動を行うために必要な調査・研究を、参加メンバーが主体的に行います。現在、「共同物流」をテーマに設定して活動を行っています。

さらに、上記の活動を補完するものとして、「省エネ法実態調査」と「グリーンロジスティクスチェックリスト調査」を実施します。

*ロジスティクス環境フォーラムは、上記2つの「事例研究会」と「共同研究」のうち、どちらか一方への参加も可能です。

グリーンロジスティクス事例研究会

1. 趣 旨

グリーンロジスティクスに係る産業界の動静や行政の施策、新しいビジネスモデルやコンセプト、技術開発動向など、最新の話題や企業各社における取り組み・先進事例等の紹介を通じて、メンバー各社における環境負荷の低減やグリーンロジスティクスの推進を支援します。また異業種の方々との人的交流・意見交換の「場」としてもご活用いただけます。

2. 具体的な研究テーマ

①環境問題全般 ②共同物流 ③グローバル・グリーンロジスティクス ④着荷主のグリーン物流 ⑤物流技術

3. 参加対象

次のような方に参加をお勧めします。

- グリーンロジスティクスに取り組んでいる方、もしくはこれから取り組もうとされている方
- グリーンロジスティクスを実践・推進する上で、何らかのヒントを得たい方
- 環境問題に関心があり、業界の動静や企業の事例・取り組み等に興味をもつ方

4. 募集人数

50 名（※定員になり次第、締め切らせていただきます）

5. 開催回数・時間

2011 年度の事例研究会は、2011 年 7 月から 2012 年 2 月までに計 6 回、開催予定です。また 1 回の開催時間は約 2 時間 30 分とし、基本的には当該月の第 3 木曜日、14 時 30 分～17 時 00 分に開催します（※初回のみ 13 時 30 分～の開始となります）。

※第 5 回会合（2012 年 1 月 19 日（木））は現地見学会を開催予定です。

…訪問先の都合により、ご見学いただけない参加企業の方が発生する場合がございます。

※講師都合等により、日時・テーマ内容を変更する場合がございます。

6. 会 場

東京都内

7. 幹 事

幹 事：東京女子大学 現代教養学部 国際社会学科 経済学専攻 准教授 二村 真理子 氏

副幹事：新日本製鐵(株) 営業総括部 部長 中村 哲郎 氏

副幹事：佐川急便(株) 本社 東京本部 総務部 環境推進担当部長 石野 順三 氏

8. プログラム構成

第 1 回会合

【テーマ】：環境問題全般

	時 間	内 容
2011 年 7 月 14 日（木）	13：30～14：20	昨年度 ロジスティクス環境フォーラム「成果報告会」
	14：20～14：30	休憩
	14：30～14：40	オリエンテーション
	14：40～15：50 (講演 50 分+質疑・意見交換 20 分)	講演① 「持続可能性から考える国土利用のあり方（仮題）」 涌井 史郎 氏 東京都市大学 環境情報学部 環境情報学科 教授
	15：50～16：00	休憩
	16：00～17：10 (講演 50 分+質疑・意見交換 20 分)	講演② 「最近の環境トピックス（仮題）」 (株)日経 BP 社（人選中）

第2回会合

【テーマ】：共同物流

	時 間	内 容
2011 年 9月15日(木)	14:30～15:40 (講演50分+質疑・意見交換20分)	講演③ 「関連部署との連携による環境負荷削減取り組み(仮題)」 斉藤 雅之氏 三共貨物自動車(株) 岩瀬センター センター長
	15:40～15:50	休憩
	15:50～17:00 (講演50分+質疑・意見交換20分)	講演④ 「輸配送の共同化(仮題)」 パナソニックグループ(人選中)

※第3回会合以降のご講演者は、参加メンバーのご意見等をふまえ決定します。

第3回会合

【テーマ】：グローバル・グリーンロジスティクス

→ 2011年10月20日(木) 14:30～17:00 開催

第4回会合

【テーマ】：着荷主のグリーン物流

→ 2011年11月17日(木) 14:30～17:00 開催

第5回会合

現地見学会

→ 2012年1月19日(木) 14:30～17:00 開催

第6回会合

【テーマ】：物流技術

→ 2012年2月16日(木) 14:30～17:00 開催

ご参考:昨年度 グリーンロジスティクス事例研究会開催実績

◇第1回会合:「環境と経営」(7/14)

-講演①「環境問題と環境調和型ロジスティクス」

流通経済大学 流通情報学部 教授 矢野 裕児 氏

-講演②「サッポログループのCSR活動」

サッポロホールディングス(株) CSR部長 端田 晶 氏

◇第2回会合:「3R」(9/8)

-講演①「ブリヂストンにおける環境への取り組み」

(株)ブリヂストン 環境推進部長 碓井 俊一 氏

-講演②「市川環境エンジニアリングの循環型社会構築に向けた取り組み」

(株)市川環境エンジニアリング 取締役 加賀山 保一 氏

◇第3回会合:「輸 送」(10/13)

-講演①「佐川急便の環境物流」

佐川急便(株) 環境推進課 課長 日山 欣也 氏

-講演②「リコーロジスティクスの環境への取り組み」

リコーロジスティクス(株) 営業本部 本部長 岡田 敏雄 氏

◇第4回会合:「技 術」(11/10)

-講演①「鉄道貨物輸送推進のためのIT技術の活用」

日本貨物鉄道(株) I-TEMセンター 所長 西村 公司 氏

-講演②「日本郵船の環境への取り組み」

日本郵船(株) 環境プロジェクトチーム チーム長 小杉 桂子 氏

◇第5回会合:「現地見学」(1/13)

-見学先「COOPネット事業連合 野田物流センター&エコセンター」

◇第6回会合:「見える化」(3/9)

-講演「自社の見える化への取り組み」

国分(株) 経営企画部 環境担当 参事 山田 英夫 氏

-パネリスト「(株)東芝、ヤマト運輸(株)、(独)新エネルギー・産業技術総合開発

機構(NEDO)

コーディネーター: (株)日本総合研究所 総合研究部門

主任研究員 下村 博史 氏

※所属・役職は会合開催時点

◎ 昨年度 ロジスティクス環境フォーラム・参加メンバー 一覧 (55 社 / 77 名)

旭硝子(株)、アサヒビール(株)、味の素(株)、イオングローバル SCM (株)、井村屋(株)、オリンパスロジテックス(株)、花王(株)、川崎陸送(株)、キヤノン(株)、キューピー(株)、麒麟ビール(株)、光英システム(株)、国分(株)、佐川急便(株)、山九(株)、サントリービジネスエキスパート(株)、(株)サンリツ、JX 日鉱日石 ANCI (株)、(株)資生堂、澁澤倉庫(株)、住商グローバル・ロジスティクス(株)、新日本製鐵(株)、センコー(株)、第一貨物(株)、拓殖大学、ディーアイエス物流(株)、日立物流ファインネクスト(株)、(株)DSP 物流サービス、東京都市大学、東芝ロジスティクス(株)、東洋埠頭(株)、トヨタ自動車(株)、(株)日通総合研究所、日本通運(株)、日本電気(株)、(株)日本総合研究所、日本トランスシティ(株)、日本パレットレンタル(株)、日本ビジネスロジスティクス(株)、ネスレ日本(株)、ネットワーク・アライアンス(株)、ハウス食品(株)、(株)バンダイロジパル、(株)日立製作所、富士通(株)、(株)プロロジス、三菱倉庫(株)、三菱電機(株)、三菱電機ロジスティクス(株)、郵船ロジスティクス(株)、雪印乳業(株)、(株)ライフサポート・エガワ、リコーロジスティクス(株)、(株)菱食、ロジスティクス・プランナー(株)

グリーンロジスティクス共同研究

1. 趣 旨

グリーンロジスティクスに係わる主要なテーマに関し、発荷主および着荷主、物流事業者の間で、取り組みを進める上での「共通課題」の抽出を行います。そして、抽出された各種課題に対する解決策の研究を通じ、参加メンバー各社における環境負荷低減の一助としていただくとともに、人的ネットワークの形成も支援してまいります。検討結果については報告書として取り纏めると共に、共同研究のメンバーだけでは解決が困難な事項については、行政や団体等の関係者に対する提言を実施します。

2010年度は「共同物流」をテーマに、「鉄道・船舶を使った共同物流」と「パレットを使った共同物流」の2つの分科会を設け、事例研究を行いました。2011年度はこれをさらに進め、行政や団体等の関係者に対する要望活動を実施する予定です。

2. 参加対象

次のような方に参加をお勧めします。

- 共同物流について、実際に取り組んでいる方
- 共同物流を推進する上で課題を抱えている方
- 環境問題に関心のある異業種メンバーとの人的ネットワークを構築したい方

3. 募集人数

30名（※定員になり次第、締め切らせていただきます）

4. 開催回数・時間（全6回会合）

第1回会合：7月下旬

9月、10月、11月、2012年1月、2012年2月

※1回の開催時間は2ないし3時間とし、14時以降の開催を予定しています。会合日程は都度調整のうえ決定します。

5. 会 場

東京都内

6. 主 査

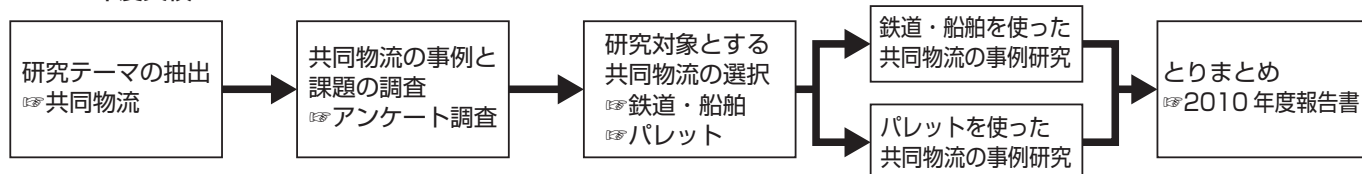
主 査：東京都市大学 環境情報学部 教授 増井 忠幸 氏

副主査：トヨタ自動車(株) 物流管理部 プロフェッショナルパートナー 高松 孝行 氏

副主査：日本パレットレンタル(株) 法務監査室 部長 梅野 直樹 氏

7. 研究のすすめ方

2010年度実績



2011年度計画



参加特典



「ロジスティクス環境会議」は2003年度から2009年度までの間、グリーンロジスティクスを推進するための課題解決方策の検討や有用となるツールの開発を進めた日本ロジスティクスシステム協会主催の会議体です。「グリーンロジスティクス支援ツール集」には同会議の7年に亘る活動成果を保存しております。

希望者に本CD-ROMを進呈いたします。

参加料

(※下記金額には消費税が含まれております)

名 称	JILS 会員	JILS 会員外
ロジスティクス環境フォーラム 2011 (事例研究会+共同研究、両方へ参加)	105,000 円 / 1 名	147,000 円 / 1 名
事例研究会 (のみへ参加)	63,000 円 / 1 名	91,350 円 / 1 名
共同研究 (のみへ参加)	63,000 円 / 1 名	91,350 円 / 1 名

申込方法

- 下記の参加申込書に必要事項を明記のうえ、ファックスにて事務局までお申し込みください。
- 「参加証」と「請求書」は参加者の方へ申込書受領後1週間ほどでお送りいたします。お手元に届かない場合には、ご連絡をお願いいたします。
- 【開催日直前のお申し込みについて】
- 開催間近のお申し込みについては、事務局までお問い合わせください。

ご注意

- 原則として、参加料の払い戻しはいたしません。
- 参加料には、各会合（事例研究会、共同研究）の運営費用等が含まれます。
- カメラ・録音機の持ち込みはご遠慮ください。
- 万が一キャンセルの場合は必ずファックスでご連絡ください。

参加料支払い方法

- 請求書は原則として合計金額を参加者の最上段（氏名1）の方にお送りいたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にてご指示ください。
- 請求書が届き次第、指定の銀行口座にお振込みください。
- お支払いは、原則として開催前日までをお願いいたします（開催後になる場合は参加申込書の支払予定日欄に明記してください）。
- 振込手数料は、お客様にてご負担願います。
- 開催日の1週間前までに参加証が届かない場合は、事務局までご連絡をお願いいたします。

参加申込先およびプログラム内容の問い合わせ

(公益) 日本ロジスティクスシステム協会 ロジスティクス環境推進センター
東京都港区芝2-28-8 芝2丁目ビル3階
TEL. 03-5484-4021 FAX. 03-5484-4031

個人情報のお取扱について

(公益) 日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー (<http://www.logistics.or.jp/privacy.pdf>) をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本フォーラムに関する確認・連絡・参加者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

●ロジスティクス環境フォーラム2011●				参加料支払窓口	
フリガナ 会社名・事業所名			☐ 協会会員 ☐ 会員外	部署名	TEL. () - FAX. () -
			担当者名	支払予定日 月 日 払	
参 加 者	フリガナ 氏名1	所属・役職名	TEL. () - FAX. () - E-mail		
	所在地 〒 -	都道府県			
	フリガナ 氏名2	所属・役職名	TEL. () - FAX. () - E-mail		
	所在地 〒 -	都道府県			
参加料合計 名 円			協会への連絡事項		

※事例研究会および共同研究の2つの会合へ参加される場合は、上記の参加者欄へご記入ください。

事例研究会のみへ参加 DK1174

参 加 者	フリガナ 氏名1	所属・役職名	TEL. () - FAX. () - E-mail		
	所在地 〒 -	都道府県			
	フリガナ 氏名2	所属・役職名	TEL. () - FAX. () - E-mail		
	所在地 〒 -	都道府県			

共同研究のみへ参加 DK1175

参 加 者	フリガナ 氏名1	所属・役職名	TEL. () - FAX. () - E-mail		
	所在地 〒 -	都道府県			
	フリガナ 氏名2	所属・役職名	TEL. () - FAX. () - E-mail		
	所在地 〒 -	都道府県			

参加料合計 名 円 協会への連絡事項

※お願い：請求書は原則として合計金額を参加者の最上段（氏名1）の方にお送りいたします。それ以外をご希望の方は、協会への連絡事項欄にてご指示ください。

受付日	請求日	請求番号
-----	-----	------

DK1176